

公衆衛生看護管理論 I

責任者・コーディネーター	地域包括ケア講座 大澤 扶佐子 准教授		
担当講座・学科(分野)	地域包括ケア講座		
対象学年	4	区分・時間数	講義 3 時間 演習 19.5 時間
期 間	前期		
単 位 数	1 単位		

・学習方針（講義概要等）

地域の健康課題を解決するための地域診断について学修する。先進事例を学び、地域診断のステップをアセスメント、情報収集等、得られた情報の分析を行う。その後、地域の健康課題を解決するための方策を検討し、実施可能な事業を考える。考えられた事業の提案をするため、地域診断の経過をわかりやすくまとめ、発表を行う。また、地域診断の各段階（計画立案、実施、事業化、提案）について評価を行う。

・教育成果（アウトカム）

地域アセスメント<地域診断>に基づき地域の健康課題を明確化し、事業化・施策化の具体的な方法を学び、公衆衛生看護学実習地域の地域保健活動を分析することで、公衆衛生看護管理の基本技術を習得することができる。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

ディプロマ・ポリシー：3, 4, 5, 7, 8

・到達目標（SBO）

1. 公衆衛生看護活動における地域診断の意義を理解できる。
2. 地域診断の展開過程を理解できる。
3. 実習地域の地理的特徴を把握できる。
4. 実習地域の既存資料から地域の健康と生活・環境に関するデータおよび保健事業の状況を整理できる。
5. 実習地域の整理した情報からアセスメントし健康課題を抽出することができる。
6. 健康課題の優先順位をつけ、地域の多職種・多機関の機能を生かし具体的な施策を提案できる。
7. 実習地域の地域診断・施策化の過程をまとめプレゼンテーションできる。
8. 作成した地域診断を実習地域で検証する視点を持てる。

・ 授業日程

(矢) トクタヴェール講義室 2

【演習】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	授業内容/到達目標
4/28	水	3	地域包括ケア講座	大澤 扶佐子 准教授 岩渕 光子 特任准教授 藤原 弥生 助教 松岡 真紀子 助教 藤澤 純子 助教	公衆衛生看護活動における地域診断の意義と展開過程 ・ 公衆衛生看護活動における地域診断の意義を理解できる。 ・ 地域診断の目的・対象・展開過程・方法を理解できる ・ コミュニティ・アズ・パートナーモデルの活用をイメージできる
4/28	水	4	地域包括ケア講座	大澤 扶佐子 准教授 岩渕 光子 特任准教授 藤原 弥生 助教 松岡 真紀子 助教 藤澤 純子 助教	実習地域の把握（ペアワーク） ・ 実習する保健所・市町村について位置的な把握ができる ・ 保健所管内の市町村・2次医療圏を説明できる ・ 実習市町村の社会資源マップを作成し、地理的な特徴を捉えられる
4/30	金	3	地域包括ケア講座	大澤 扶佐子 准教授 岩渕 光子 特任准教授 藤原 弥生 助教 松岡 真紀子 助教 藤澤 純子 助教	実習地域の既存の資料の把握（ペアワーク） ・ 既存資料や Web 情報から実習地域（保健所・市町村）の保健医療福祉計画の把握ができる ・ 実習保健所管内の人口動態・人口静態が整理できる ・ 市町村の保健活動のまとめの資料の内容を理解できる

4/30	金	4	地域包括ケア講座	大澤 扶佐子 准教授 岩渕 光子 特任准教授 藤原 弥生 助教 松岡 真紀子 助教 藤澤 純子 助教	<p>実習地域の既存の資料の把握 (ペアワーク)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存資料や Web 情報から実習地域（保健所・市町村）の保健医療福祉計画の把握ができる ・実習保健所管内の人口動態・人口静態が整理できる ・市町村の保健活動のまとめの資料の内容を理解できる ・実習市町村のコミュニティコアとサブシステムを整理できる
6/7	月	1	地域包括ケア講座	大澤 扶佐子 准教授 岩渕 光子 特任准教授 藤原 弥生 助教 松岡 真紀子 助教 藤澤 純子 助教	<p>実習地域の収集したデータの分析 (ペアワーク)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整理した実習市町村のコミュニティコアとサブシステムの再検討ができる
6/7	月	2	地域包括ケア講座	大澤 扶佐子 准教授 岩渕 光子 特任准教授 藤原 弥生 助教 松岡 真紀子 助教 藤澤 純子 助教	<p>実習地域の収集したデータの分析 (ペアワーク)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の強み・弱みが見いだせる。 ・収集したデータから問題の整理をし、関連図に示せる
6/11	金	1	地域包括ケア講座	大澤 扶佐子 准教授 岩渕 光子 特任准教授 藤原 弥生 助教 松岡 真紀子 助教 藤澤 純子 助教	<p>実習地域の健康課題の抽出 (ペアワーク)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習地域の健康課題を抽出できる ・健康課題の優先順位を検討できる
6/11	金	2	地域包括ケア講座	大澤 扶佐子 准教授 岩渕 光子 特任准教授 藤原 弥生 助教 松岡 真紀子 助教 藤澤 純子 助教	<p>健康課題に対する施策化・事業化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題に対する目標と事業計画について理解できる

6/21	月	1	地域包括ケア講座	大澤 扶佐子 准教授 岩渕 光子 特任准教授 藤原 弥生 助教 松岡 真紀子 助教 藤澤 純子 助教	実習地域の健康課題に対する事業化（ペアワーク） ・課題に対する目標を設定できる ・目標達成のために既存の事業の修正又は新規事業の計画を立案できる
6/21	月	2	地域包括ケア講座	大澤 扶佐子 准教授 岩渕 光子 特任准教授 藤原 弥生 助教 松岡 真紀子 助教 藤澤 純子 助教	実習地域の健康課題に対する事業化（ペアワーク） ・課題に対する目標を設定できる ・目標達成のために既存の事業の修正又は新規事業の計画を立案できる
6/28	月	1	地域包括ケア講座	大澤 扶佐子 准教授 岩渕 光子 特任准教授 藤原 弥生 助教 松岡 真紀子 助教 藤澤 純子 助教	地域診断・事業化の資料作成（ペアワーク） ・地域診断・事業化のプレゼンテーションのための資料が分かりやすく作成できる
6/28	月	2	地域包括ケア講座	大澤 扶佐子 准教授 岩渕 光子 特任准教授 藤原 弥生 助教 松岡 真紀子 助教 藤澤 純子 助教	地域診断・事業化の資料作成（ペアワーク） ・地域診断・事業化のプレゼンテーションのための資料が分かりやすく作成できる ・プレゼンテーションの進め方をシミュレーションできる
7/5	月	1	地域包括ケア講座	大澤 扶佐子 准教授 岩渕 光子 特任准教授 藤原 弥生 助教 松岡 真紀子 助教 藤澤 純子 助教	地域診断・事業化のプレゼンテーション ・実習地域の地域診断・事業化について、分かりやすくプレゼンテーションできる ・他の実習地域の発表に対して担当地域と比較・検討し、質問・意見を言える

7/5	月	2	地域包括ケア講座	大澤 扶佐子 准教授 岩渕 光子 特任准教授 藤原 弥生 助教 松岡 真紀子 助教 藤澤 純子 助教	地域診断・事業化のプレゼンテーション ・実習地域の地域診断・事業化について、分かりやすくプレゼンテーションできる ・他の実習地域の発表に対して担当地域と比較・検討し、質問・意見を言える
7/12	月	1	地域包括ケア講座	大澤 扶佐子 准教授 岩渕 光子 特任准教授 藤原 弥生 助教 松岡 真紀子 助教 藤澤 純子 助教	地域診断・事業化の評価（ペアワーク） ・プレゼンテーションの内容を評価し、実習で情報収集等検証する内容を整理できる ・社会資源マップを充実できる

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	地域看護アセスメントガイド 第2版	佐伯 和子 編	医歯薬出版	2019
教	標準保健師講座1 公衆衛生看護学概論	標 美奈子 他	医学書院	2019
参	標準保健師講座 別巻1 保健医療福祉行政論	藤内 修二 他	医学書院	2017
参	地域特性がみえてくる地域診断	都筑 千景 編	医歯薬出版	2020
参	公衆衛生看護学テキスト第2巻 公衆衛生看護技術	佐伯 和子 編	医歯薬出版	2014

・成績評価方法

定期試験 50%、地域診断プレゼンテーション 50% により総合的に評価を行う。

・特記事項・その他

【事前事後学修の具体的内容及び時間】

授業開始に当たり、地域看護学Ⅱで学修した地域診断の復習をして臨むこと。実習地域ごとに資料をまとめ発表していくが、教科書・既存資料・インターネットを利用したペアでの事前・事後学習が必要になるので、授業内容を把握し見通しを持って進めること。事前・事後学修は、各回30分以上を要する。本科目は公衆衛生看護学実習に連動している。

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】

ペアワークを中心に演習を行う。地域診断の課題は段階を踏みながら進める。その段階ごとに資料の提出を求める。提出期限は授業で指定する。提出された資料には、コメントを添えてフィードバックする。地域診断のプレゼンテーションは評価表に基づき評価する。

【その他】

Webサイト利用・資料作成のため、全員パソコンを持参のこと（指示する）

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】

保健師（別表1）：公衆衛生看護学 公衆衛生看護管理論

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
演習	プロジェクター（VPL-FW60）	1	講義用スライド
演習	書画カメラ（P-100）	1	講義用資料投影
演習	DVD（ブルーレイおよび一般DVD）再生機器	1	講義用資料投影